

## 6月8日定例記者会見の概要

1 日 時 令和2年6月8日(月) 15時30分～16時30分

2 場 所 本庁舎4階 議場

3 出席者 <報道機関>

朝日新聞社 南相馬支局(南相馬記者クラブ加盟社)  
NHK 南相馬報道室(南相馬記者クラブ加盟社)  
毎日新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ加盟社)  
河北新報社 南相馬支局(南相馬記者クラブ加盟社)  
読売新聞社 南相馬通信部(南相馬記者クラブ加盟社)  
福島民報社 南相馬支社(南相馬記者クラブ加盟社)  
福島民友新聞社 相双支社(南相馬記者クラブ加盟社)  
福島中央テレビ 報道部(南相馬記者クラブ準加盟社)  
福島放送 福島支社(南相馬記者クラブ準加盟社)  
福島テレビ 報道部(南相馬記者クラブ準加盟社)  
テレビユー福島 報道部(南相馬記者クラブ準加盟社)  
時事通信社 福島支局  
みなみそうまチャンネル

計 13 社

< 市側 >

市長 林副市長 鹿島区役所長 総務部長 復興企画部長  
復興企画部理事 市民生活部長 健康福祉部長 経済部長  
経済部笹野理事 経済部中目理事 建設部長 教育委員会事務局長  
(テレビ会議) 常木副市長 教育長

計 15 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

### 【市政報告】

新型コロナウイルス感染症等に係る緊急事態宣言が解除となってから3週間が経過し、また、市内では、4月26日以降、43日間、新たな陽性患者は発生していません。これも、市民の皆様のご理解・ご協力の賜物であります。改めて、御礼申し上げます。

市では、県の新型コロナウイルス感染拡大防止対策に準じながら、イベントの開催や市有施設の再開などを進めると共に、第1弾から第3弾までの緊急対応策に係る事務作業を進め、大幅に落ち込んだ消費の喚起を図っているところです。

今後は、「感染防止対策」と「社会経済活動」の両立を図る新たなステージへ対応

していく必要があります。

市民の皆様へは、新しい生活様式の実践と定着による感染防止対策をお願いしながら、社会経済活動の活性化に向けては、思い切った支援策や、強靱な経済構造の構築のための支援策を講ずるなど、スピード感を持った対応を進めてまいります。

それでは、前回の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

まず、手話通訳の導入に向けた検討についてです。

市ではこれまで南相馬チャンネルやYouTubeなどで記者会見を放送してきましたが、聴覚に障害のある方へも迅速に情報をお届けするため、定例記者会見における手話通訳の導入を検討しています。

今回の記者会見では、試験的な取り組みとして、手話奉仕員の皆様にご協力をいただき、手話通訳をさせていただくことになりました。

今回の結果を手話奉仕員の皆様と共有、検証しながら、今後の手話通訳の本格導入に向けて検討を進めてまいります。

次に、臨時議会の開催についてです。

5月22日に開会した第4回市議会臨時会において、市民向け対策と事業者向け対策に重点化した第3弾の緊急対応策の補正予算など、議案8件について、議決を賜りました。

第3弾の緊急対応策における事業者向け取り組みとしていた事業継続支援金や事業継続チャレンジ応援給付金等につきましては、6月1日より申請の受け付けを開始しました。

引き続き、迅速かつ正確な事務処理に努めて参ります。

次に、新型コロナウイルス感染症に係る寄附等についてです。

市では、これまで、市内外の企業や個人から23件もの義援金や、不織布マスクなどの寄附を頂いております。特に、市内の医療従事者の方々に向けては、心温まるご支援をいただいております。

5月12日には、サッカー日本代表専属シェフの西芳照氏から市立総合病院の職員に向けて、カレーライスの提供をいただきました。また、5月27日には、市内中学生から新型コロナウイルスと戦う地域の方々に向けて、応援と感謝の気持ちを伝えるメッセージをいただきました。こうした中、5月26日には、市内中学校に通う兄妹2人から、ビニール製そで付きエプロン計200枚の寄附をいただきました。医療従事者の皆様の感染予防に役立てて欲しいということで、2人が自らのお小遣いで購入したそうです。こちらのエプロンについては、6月1日に市内5つの病院へ届けて参りました。また、本日の私のマスクについてはシルバー人材センター女性部の皆様から500枚の寄附をいただき、その中の一枚を使用させていただきました。

この場をお借りして、寄附等をいただきました皆様へ、改めて感謝申し上げます。引き続き、感染症との戦いは続きますが、様々な業種の方たちと協力しながら、一緒に立ち向かっていきたいと思っております。

次に、南相馬証明サービスセンターに関する話題です。

6月1日より、本庁舎1階にある福島地方法務局南相馬証明サービスセンターの取扱書類証明書が追加となりました。追加となったのは「土地建物の地図や各種図面の証明書」となります。

これは、過日、市、市議会、原町商工会議所、鹿島商工会、小高商工会の連名で、法務大臣へ提出した要望書により実現したものととなります。

今後も、市民の皆様の利便性向上に向けて、外部機関などへ必要となる働きかけを積極的に行ってまいります。

次に、定額タクシー「みなタク」の利用料金改定についてです。

「みなタク」は、原町区と鹿島区の各区内において、自宅と区内のあらかじめ定められた乗降場所との往来に利用できる交通サービスで、これまで片道の利用料金が最大で1,800円となっていたものを、6月1日から片道900円に引き下げました。

車を運転しない市民の皆様、他の公共交通機関が利用しにくい地域の皆様には、ぜひご活用いただきたいと思っております。

続いて今後の主な話題について申し上げます。

はじめに、市議会6月定例会についてです。

6月10日から開会となる第5回市議会定例会に提出させていただく案件は議案が12件、報告が6件の計18件を予定しています。

主な案件としては、「南相馬市市民一体化復興促進基金条例の一部を改正する条例制定」や「南相馬市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定」、補正予算などとなります。

補正予算の内容については、「市民プール更新事業」や「園芸作物集出荷団地基本計画策定事業」、災害時の情報管理や情報共有で使用するシステムの導入として「災害情報共有システム構築事業」と「統合型地理情報システム構築事業」を計上しています。

また、新型コロナウイルス感染症に係る緊急対応策としては、今回も感染症対策、市民向け対策、事業者向け対策の3本柱に沿って事業を計上しているところです。加えて、新型コロナウイルス感染症への対策等が必要となっている状況に鑑み、副市長と教育長、並びに私の期末手当を減額する新たな条例制定も含めております。

詳細はのちほど総務部長より説明してもらいます。

次に、南相馬市産業創造センターの第一期入居者についてです。

7月1日より運用を開始する南相馬市産業創造センターの入居募集には20区画の募集に対して、12社の応募がありました。

市では、5月26日に審査会を開催し、書類やオンライン面接などによる審査を経て、第一期入居者として12社の入居を決定いたしました。入居者からは、地元企業との連携や福島ロボットテストフィールドの活用などのご提案をいただいております。

今後、地元企業との橋渡しなどを行い、地域産業の振興を図ってまいります。  
詳細はのちほど経済部理事より説明してもらいます。

次に、南相馬市消防団の受賞についてです。

市消防団が、福島民報社様から、県下の消防団に贈られる「民報金ばれん」を受賞することになりました。本市としては旧原町市以来47年ぶり、合併後初の受賞となります。

この間、本市は様々な災害に見舞われました。近年では、東日本大震災や令和元年東日本台風などが挙げられますが、その度に消防団員の方々には、避難広報や誘導など、市民の生命と財産を守る活動にご尽力いただいています。

こうした災害時の活動や、平日頃の訓練などを総合的に審査いただき、今回の受賞につながったものと考えております。

今回の受賞は、多くの困難を乗り越え活動している消防団員の励みとなるものです。市民にとっても心強く、本市の更なる復興に繋がることを期待しています。

#### 【各部からの報告】

総務部

- ・第5回南相馬市議会定例会市長提出議案の要旨
- ・令和2年度南相馬市予算主要事業説明書（6月補正）

経済部

- ・南相馬市産業創造センター入居者の募集結果について

#### 【各部からの資料提供】

総務部

- ・新型コロナウイルス感染症に対する南相馬市の緊急対応策

#### 【質疑応答】

なし

以上